

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスGood Action Plus		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 12日		～ R7年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R7年 3月 10日		～ R7年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の生活にあった日常の困りごとに対して、療育に柔軟に入れて訓練が行える。 また、学校生活での困りごとに関して、学校と連携をして児童が様々な体験を円滑に行えるように支援する。	保護者や学校の先生からいただいた、児童の困難さに対して施設で分析し、それにつながる支援をしている。 学校での行事など、協力級よりも練習に時間がかかるものについて、療育時間や集団活動の中に取り入れて訓練を行っている。	学校との定期的な連絡。 その他、関係機関との連絡調整。 日々の療育内容の連絡共有。 保育所訪問施設の開設。
2	社会に出てから児童が困ることを様々な視点で考え、療育に入れていくことができる。	環境づくりをしながら、児童自身で解決できるように段階をつくり支援を行っている。 放課後等デイサービスだけでなく、学校・家庭など、様々な場所でも児童の困りごとに対して児童に聞き取りをしている。	中学・高校・就職など様々な進路に関して、職員全員が知識を持つ事。 適応能力に対する研修・勉強会。
3	児童の小さな癖や特性について、性格などを考えて療育内容や保護者からの相談に対して支援を行うことができる。	言語化しない児童の癖や表情の共有。 保護者や学校の担任からいただいた情報をもとに、療育内容を変更し児童の特性に適したもの、適さなかったものの共有。	保護者との連絡が円滑に行えるようにシステムの変更を検討中。 職員への特性についての定期的な研修。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の取り組み。	他の保護者会で、逆に関係ない心配事に悩まされる保護者から相談があり、開催に関してメリットを感じなかった。	こちらが介入してトラブルを防ぐ。 個人の相談会にならないように、プログラムをあらかじめ作成する。 出席しやすいようにzoomなどとり入れる。 Googleフォームでアンケートをとる。
2	活動やデイでの取り組みについての周知	SNSの更新が止まってしまっている。 連絡が電話やLINEだけになっている。 来所日以外の活動が知られない。	システムの変更で電話・LINE以外の連絡をつくり、日々の内容を早めに共有。
3	長期休みでの課外活動の充実	移動時間に対する特性に合わせた支援。	保護者へのアンケート実施。 移動手段の検討。 グループわけでの活動の検討。